

SDGs に資する地域人材育成プログラムの開発と協働支援体制の構築

－ コロナ禍での実施活動と今後の課題 －



実施担当者 愛媛大学教育学部
准教授 向 平和

1 はじめに

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, 以下 SDGs）は、2015年に国連サミット採択され、すべての国の人々が2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として設定された。17のゴールと169のターゲットから構成され（表1）、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを謳っている。最近では企業も積極的にSDGsに参画し、持続可能な社会の実現に向けて様々な取り組みを実施している。学校教育は、これからの社会を担う子どもたちに対してSDGsを涵養させることが求められており、外部機関との連携が必要不可欠な状況となっている。そこで、本事業では科学系社会教育施設の活用を目指した教育コンソーシアムを活用し、SDGsに資する地域人材育成プログラムの開発と協働支援体制の構築を行うこととした。

よく目にするSDGsのロゴと標語は知っているが、表1に示している本来の目標まで把握している指導者は意外と少ない。例えば、教育に関する目標4は標語的には「質の高い教育をみんなに」と示している。実際は生涯教育の機会の促進も示しており、特に日本ではリカレント教育の整備や新しい技術に対応することに対して学び直しの機会の促進では大きく遅れをとっている状況である。この点も、社会教育施設との連携に着目した部分である。

表1 SDGsの17の目標と該当するターゲットの数

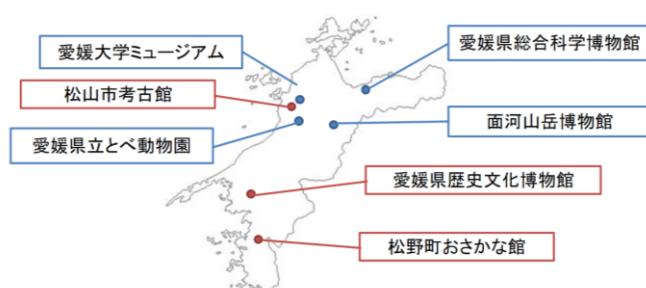
| 目標 No. | 目標 | ターゲット数 |
|--------|---------------------------------------|--------|
| 1 | あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる | 7 |
| 2 | 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する | 8 |
| 3 | あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | 13 |
| 4 | すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する | 10 |

| | | |
|----|--|----|
| 5 | ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う | 9 |
| 6 | すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する | 8 |
| 7 | すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する | 5 |
| 8 | 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する | 12 |
| 9 | 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る | 8 |
| 10 | 各国内及び各国間の不平等を是正する | 10 |
| 11 | 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する | 10 |
| 12 | 持続可能な生産消費形態を確保する | 11 |
| 13 | 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる | 5 |
| 14 | 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する | 10 |
| 15 | 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する | 12 |
| 16 | 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する | 12 |
| 17 | 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する | 19 |

2 協働支援体制の構築

2-1 科学系社会教育施設の活用を目指した教育コンソーシアムの活用

2017～2018 年度中谷医工計測技術振興財団科学教育振興助成科学研究費補助金の助成によって科学系社会教育施設を活用できる小学校教員の育成と支援を実施した。その際、科学系社会教育施設の活用を目指した教育コンソーシアムを設立している。



当時、愛媛県総合科学博物館、愛媛県立とべ動物園、面河産学博物館、愛媛大学ミュージアムと連携して実施していた。さらに本助成により、松山市考古館と松野町おさかな館にも協力していただき、支援体制を拡充している。さらに愛媛県歴史文化博物館などとも連携を拡げていながらSDGsの多様なテーマに対応できるように支援体制の拡充に努めていく予定である。

2-2 令和2年度の活動内容

令和2年度運営会議

令和2年9月10日に令和2年度運営会議をZoomを利用して実施した。愛媛県立とベ動物園、愛媛県総合科学博物館、愛媛県総合教育センター、愛媛大学ミュージアムおよび愛媛大学の関係者8名が参加した。今年度の活動計画および遠隔授業の実施状況などの情報交換を行った。コロナウィルス感染症(COVID-19)の感染拡大のため、多くの計画が中止や変更が余儀なくされている。そのため新たにウェビナーの実施などを提案し、実施することを確認した。各社会教育施設の工夫なども共有し今後の活動に活かせる有意義な会議となった。

第1回研修会

令和2年8月1日に愛媛県立とベ動物園において、SDGsに資する地域人材育成プログラムの開発と協働支援体制の構築を目指した令和2年度第1回研修会「SDGsのフィールドとしてのとべ動物園の活用」を実施した。小学校教員12名、小学生42名およびその保護者が参加した。まず、動物園職員からレクチャーがあった後、園内散策を行いながらクイズラリーを実施した。最後にクイズの正答に関する解説を行った。参加者は楽しみながら動物の現状などを知ることができた。



教員向けウェビナーの開催

第2回研修会以降は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できないため、令和2年10月11日に教員向けウェビナーを企画し実施した。参加者は教員5名、博物館・動物園関係者3名、大学教員2名の計10名の参加であった。前半はZoomなどのweb会議システムを活用した遠隔授業の実践の報告やこれからの活用方法について議論した。その後、社会教育施設との連携においてWeb会議システムやオンデマンド配信型の教材の開発などについて議論した。今回はとべ動物園で作成いただいたオンデマンド配信の試作教材について紹介した。今後、バックヤードの紹介など普段見学できない部分の教材化などが提案され、今後の教材開発の方向性も議論できた。



連携協力校での教員向け研修会

令和2年10月29日に連携協力校である今治市立乃万小学校で教員向け研修会を実施した。参加者は教員32名であった。前半はZoomなどのweb会議システムを活用した遠隔授業の実践の報告やこれからの活用方法について概説し、様々な社会教育施設との連携においてWeb会議システムやオンデマンド配信型の教材の開発などについても紹介した。多くの先生方がコロナ禍での教育活動での充実について考えることができた。



養殖業に関するシミュレーション教材の開発と実践

令和2年11月7日に堀江公民館にて実施されている科学教室にて本研究室で開発した養殖業に関するシミュレーション教材の実践を行った。参加者は、小学生9名、大学生・大学院生4名、関係者4名の計17名であった。本教材はSDGsに資する教材で、海洋資源の有効利用やキャリア教育にもつながるものである。子どもたちは本シミュレーション教材を通じて、楽しみながらとる漁業から作り育てる漁業への転換についても理解することができた。



今年度以下の研修会等が新型コロナウイルス感染症ために中止・代替となった。

第2回研修会：9月5日 松山市考古館「古代の生活を科学しよう！」をテーマに教員を対象とした研修会を中止

第3回研修会：10月17日 愛媛県総合科学博物館「アジア人初の新元素発見者 小川正孝の業績を学ぼう」をテーマに教員を対象とした研修会を中止

開発した教材の実践：10月愛媛大学教育学部附属小学校土曜学習「つくり育てる漁業のシミュレーション」を堀江港民間の科学教室に代替

研究打ち合わせ：11月松野町おさかな館にて教材ワークショップを企画したが中止

3 まとめ

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、多くの研修会等が中止となった。しかし、遠隔会議システムが浸透し、遠隔地との情報交換においては便利になった側面もある。学校現場も GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想が前倒しで進められ、ICT活用も進んでいくことが予想される。これまで時間と空間的な制限から利用が困難であった社会教育施設の活用も進みやすくなることも期待できる。そのため、今回大幅な予算の使用用途を変更し、ICT活用機材の購入ができたことは次年度に向けて大きな助力となると考えられる。

謝 辞

中谷医工計測技術振興財団科学教育振興助成により、本事業を遂行することができました。さらにコロナ禍の中、様々なことにご対応いただきました。ここに記して感謝申し上げます。

参考文献

外務省, JAPAN SDGs Action Platform, <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>, (2021年3月24日確認) .

以上